

## わたしの評価方法 生徒のやる気が出る授業と評価

横浜市立六ツ川中学校 小柳美葉留



### 1 はじめに

絶対評価が実施されて2年目の学年末が近づき、試行錯誤でスタートした私自身の評価の仕方も、2度目の反省の時期となった。

この評価が、進路資料としてどこまで信憑性があるのか、それぞれの学校独自の評価で真の評価となりうるのか…というテーマをめぐって、2年間教科会や教科主任会、さらには職員会議、保護者説明会等を開いて、検討を繰り返した。おそらく多くの先生方が絶対評価の長所と短所に直面して、悩んだ2年間だったのではないだろうか。

思えば相対評価の時代、常に生徒は評価される側として、「この先生は自分をどのように評価してくれるのだろう。」と、心配していたのではないかと思う。一方、私たち教師は、どこまでそのことを意識して評価していただろうか…。

結論から言うと、絶対評価が実施された主旨は、「生徒のやる気が出る授業と評価」の実践であると考えている。生徒は教師に指導され、相対的に評価されるのではなく、教師の支援を得ながら、各自で努力目標と学習計画を立て、自己評価も加味した絶対評価で、次の努力目標を立てていく。そのような学習方法のうちに、生徒の学習への興味関心を育み、やる気をもって授業に臨み、「生きる力」を身につけるのだろうと思う。

この意味で、自分自身の授業や評価はどうであったのか、反省もかねてまとめてみた。

### 2 生徒のやる気が出る授業

日々生徒と接していると、彼らは興味関心のある授業に対しては、休み時間から準備をし、目を輝かせて授業に取り組む。また、がんばった教科の評価については自信と期待をしているものである。私の課題は、どのようにして、「生徒が社会の授業を楽しみにし、評価を期待しているか。」ということだった。

このために、まず評価の基準を明らかにし、生

徒自身が学習計画や努力目標を立てやすくした。

具体的には、以下の表を学期初めに授業中に説明した。(点数を入れた表は、各学期ごとに黒板に板書するようにして、プリントの配布はしていない。)

	1学期	2学期	3学期
中心授業	山梨県レポート(15) 神奈川県レポート(15) ノート(20)	夏休みの課題レポート(30) 朝学習テスト(25) ノート(10) 感想カード(10)	冬休みの課題レポート(35) 朝学習テスト(25) ノート(10)
	合計: 50点満点	合計: 75点満点	1学期から 15点 2学期から 15点 合計: 100点満点
実習授業	山梨県レポート(10) 神奈川県レポート(10) 期末テスト(30)	レポート(50) 期末テスト(25)	朝学習テスト(25) 期末テスト(45)
	合計: 50点満点	合計: 75点満点	1学期から 15点 2学期から 15点 合計: 100点満点
資料活用	ノート(15) 期末テスト(35)	新聞レポート(10) スピーチ(10) ノート(10) 期末テスト(45)	朝学習テスト(25) ノート(10) 期末テスト(35)
	合計: 50点満点	合計: 75点満点	1学期から 15点 2学期から 15点 合計: 100点満点
副読本	朝学習テスト(15) 期末テスト(35)	新聞レポート(10) 朝学習テスト(25) スピーチ(10) 期末テスト(30)	朝学習テスト(50) 期末テスト(20)
	合計: 50点満点	合計: 75点満点	1学期から 15点 2学期から 15点 合計: 100点満点

#### < 資料 A >

たとえば、

(ア) 「ノート提出は、○点満点で評価します。また、このようなノートが満点になります。」と提示する。

(イ) 夏休みや冬休みのレポート・新聞づくり等の配点を事前に発表し、どのようなレポートや新聞が良いか、教室や廊下に資料を展示する。(この場合、卒業生のレポートの協力が有効だった。生徒たちは、「○○先輩の新聞だ!」と喜んで参考にしていた。)

(ウ) 期末テスト前には、観点別の配点を、思考判断は○点、資料判断は○点、知識理解は○点と示し、「今度のテストで、知識理解は○点取ることが目標だ!」といった努力目標を立てる。

また、本校では総合の時間として、「朝の学習」を実施している。これは、8時35分から8時50分の半単位の授業で、5教科を中心に、知識理解の基礎・基本の定着のために活用している。全クラスで同じ教科を学習する形態なので、小テストの実施等が可能となる。社会科では、この時間に繰り返し学習と小テストを実施して、生徒の「やる気」を引き出したいと考えた。

次の表は、2月の「朝の学習」の予定表である。○○先生・▼▼先生というのは、監督の教師名が入る。

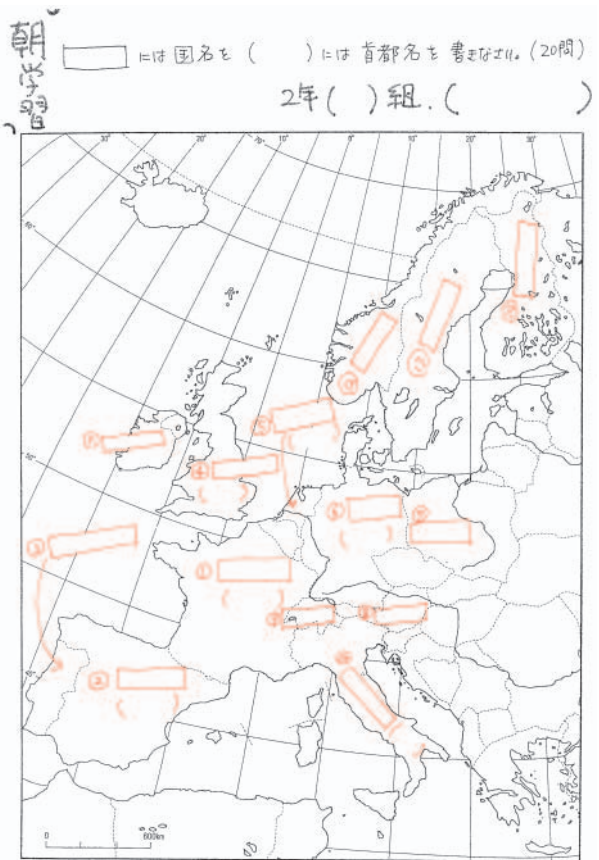
平成15年度 2月総合学習予定 (2年)			
日	朝	学習内容	担当クラスと学習担当者
1	日		
2	月	英語練習	1組:○○T 2組:△△T 3組:××T 4組:□□T 5組:◇◇T
3	火	国語漢字	1組:▼▼T 2組:■T 3組:◆◆T 4組:○○T 5組:△△T
4	水	社会練習	1組:××T 2組:□□T 3組:◇◇T 4組:▼▼T 5組:■T
5	木	数学練習	1組:◆◆T 2組:○○T 3組:△△T 4組:××T 5組:□□T
6	金	理科アリト	1組:◇◇T 2組:▼▼T 3組:■T 4組:◆◆T 5組:○○T
7	土		
8	日		
9	月	朝会	
10	火	英語アリト	1組:△△T 2組:××T 3組:□□T 4組:◇◇T 5組:▼▼T
11	水		建國記念日
12	木	国語漢字	1組:■T 2組:◆◆T 3組:○○T 4組:△△T 5組:××T
13	金	社会アリト	1組:□□T 2組:◇◇T 3組:▼▼T 4組:■T 5組:◆◆T
14	土		
15	日		
16	月	数学アリト	1組:○○T 2組:△△T 3組:××T 4組:□□T 5組:◇◇T
17	火	理科アリト	1組:▼▼T 2組:■T 3組:◆◆T 4組:○○T 5組:△△T
18	水	期末テスト	
19	木	期末テスト	
20	金	期末テスト	
21	土		
22	日		
23	月	英語練習	1組:××T 2組:□□T 3組:◇◇T 4組:▼▼T 5組:■T
24	火	国語漢字	1組:◆◆T 2組:○○T 3組:△△T 4組:××T 5組:□□T
25	水	社会アリト	1組:◇◇T 2組:▼▼T 3組:■T 4組:◆◆T 5組:○○T
26	木	数学アリト	1組:△△T 2組:××T 3組:□□T 4組:◇◇T 5組:▼▼T
27	金	理科アリト	1組:■T 2組:◆◆T 3組:○○T 4組:△△T 5組:××T
28	土		
29	日		

< 資料 B >

小テストと授業の内容は、たとえば歴史的分野では年表(時代区分・おもなできごと等)の基礎知識のプリントを作成、地理的分野では白地図(国名や都道府県等)の基礎知識のプリントを作

成し、そこから小テストを実施した。

1・2学期は、1週目は練習として小テストを行い、次週は同じ問題を小テストとして、評価に加算した。練習用の1度目には失敗した生徒も、2度目の本番テストで同じ問題が出題されることで、「今度は満点取るぞ!」とがんばることができたようである。このテストは、定期テストでは評価しづらい「関心意欲」も評価できると思う。また、問題が全員に事前に配布されているので、欠席した生徒でも、再テストを受けることが可能であった。



< 資料 C >

また、3学期は、地理的分野と歴史的分野の2年間のまとめ学習を行い、小テストも総合的な問題を作成してみた。事前にプリントを配布する方法は同じであるが、練習用の1度目と本番用の2度目が、まったく同じ問題ではなく、事前のプリントの中から選択して出題する方法にしたのである。さらに、高校入試問題の過去10年分から抜粋して頻出度の高い内容を小テストの<資料活用>

として出題した。1・2学期の出題傾向とは違っていたが、多くの生徒の興味関心は、年間を通して持続したように思う。＜資料D＞は3学期に実践した朝学習の事前練習用のプリントで、＜資料E＞は、その本番用のプリントである。3学期の朝学習は5回行われ、その点数は、評価の中に加算した。

### 朝学習3回目の練習解答用紙

【1】

①、ラクスマン来航 (ア) 1792年	②、鎌倉幕府開く (エ) 1192年
③、戊辰戦争 終 (イ) 1868~9年	④、大阪の陣 (キ) 1615年
⑤、島原・天草一揆 (サ) 1637年	⑥、西南戦争 (ク) 1877年
⑦、台湾出兵 (ツ) 1874年	⑧、平将門の乱 (ウ) 935年
⑨、江華島事件 (ス) 1875年	⑩、下関条約 (ケ) 1895年
⑪、関ヶ原の戦い (オ) 1600年	⑫、平城京 (カ) 710年
⑬、リャオトン (遼東) 半島に対する三国干渉が行われる。(セ) 1895年	
⑭、シャントン (山東) ドイツ領を日本が中国に要求する。(ヤ) 1915年	

【2】

① ア、韓国併合 イ、三・一独立運動 ウ、伊藤博文の暗殺事件 エ、条約改正

② ア、第1次護国運動 イ、原敬内閣の誕生 ウ、普通選挙の実現

エ、全国水平社の創立

【3】 次の資料をよく見て、各問に答えなさい。←事前学習なし、資料・活用

問1 工業生産額が一番多い都市を次から1つ選び、記号で答えなさい。(1点)

ア、ベキン イ、シャンハイ  
ウ、シーアン エ、ボンコン

問2 シャンハイでつくられている製品を次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

ア、精密・電気機器 イ、自動車  
ウ、機械類 エ、コンピュータ

問3 問1・2以外の内容で、右の資料からわかることを2つ書きなさい。(2点)

### 3学期 朝学習テスト 3回目

【1】 次の①・②のできごとを年代の古い順にならべなさい。また、それ歴史的な流れを説明しなさい。(ならびかえ: 1点 説明: 3点)

- ① ア、韓国併合 イ、三・一独立運動 ウ、伊藤博文の暗殺事件 エ、条約改正
- ② ア、第1次護国運動 イ、原敬内閣の誕生 ウ、普通選挙の実現
- エ、全国水平社の創立

【2】 次のできごとに関わる場所を地図の中から選び、記号で答えなさい。また、年の中におこった年号を書きなさい。(1×8=8点)

- ① 鎌倉幕府
- ② 関ヶ原の戦い
- ③ 下関条約
- ④ 西南戦争



【3】 次の資料をよく見て、各問に答えなさい。←事前学習なし、資料・活用

問1 工業生産額が一番多い都市を次から1つ選び、記号で答えなさい。(1点)



- ア、ベキン イ、シャンハイ  
ウ、シーアン エ、ボンコン

問2 シャンハイでつくられている製品を次の中から1つ選び、記号で答えなさい。(2点)

- ア、精密・電気機器 イ、自動車  
ウ、機械類 エ、コンピュータ

問3 問1・2以外の内容で、右の資料からわかることを2つ書きなさい。(2点)

### < 資料 E >

かる生徒もいた。また、転入生への対応にも細かい配慮が必要になる。これらの生徒たちの「関心意欲」をいかに引き出し、持続されるかも今後の課題となる。

## 4 おわりに

自分自身、この2年間ほど真剣に評価について考え、年間の学習指導計画を組み立て、評価基準をていねいに作成したことはなかったように思う。また、職員会議や教科会では、教師同士が話し合い、相談して、評価基準を検討した。絶対評価の導入は、生徒だけでなく、私たち教師にとっても大事件であった。見方をかえれば、私たちの授業や評価の仕方、さらには教師自身が生徒や保護者から、評価される対象になったのである。

このことは、ある意味ではチャンスで、私たちと生徒たちが「楽しい授業」をともに創りあげる共同体だということが再確認できたと思う。

これを機会に、自らの授業・評価を振り返り、さらなる成長をめざしたい。

### < 資料 D >

## 3 今後の課題

このような評価を実施して、多くの生徒は以前よりは前向きに取り組んでくれるようになったと思う。今まで、レポートやノートを提出しなかった生徒も、教師が資料提供し、放課後に図書室で一緒に学習したりしながら、遅れても提出できるようになった。放課後の補習や再テストを申し出る生徒も増え、全体的に「関心意欲」は高まったと思う。

しかし、評価の基準や配点を事前に明らかにすることで、たとえば、「これからがんばっても評価が上がらない。」などの理由で、途中であきらめか